

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者様の個性、主体性、尊厳を尊重し、入居者様のQOLの向上を目指し、ご家族様・地域社会から信頼され、歓迎されるサービスを提供する。「よりよい介護、感動ある介護を目指します」を理念としています。	○	今後も継続して地域密着型サービスとしての役割を目指し取組んでいきたいと思っています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関フロア、各フロア詰め所に理念を掲示しています。ミーティング等で理念に添ったケアへの実践を検討及び確認しています。	○	理念の実践のため職員と意見を交わして取組んでいきたいと思っています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時にお話させて頂き、玄関フロアに掲示、運営推進会議等でも報告しています。	○	今後もより理解していただけるよう取組みたいと思います。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日頃の挨拶や会話をし、気軽に立ち寄って頂けるようなおつきあいを心掛けています。	○	立ち寄っていただける事もありますが、気軽にとまでは至らず今後取組む必要があると思っています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の体育祭や秋祭りに参加する等、地域活動へは、積極的に参加しています。	○	今後も地域行事に積極的に参加したいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設内にAEDを設置し、地域の方にも利用して頂けるように自治会や近隣の方に案内し、摂津市消防本部、市役所へ報告しています。また、職員の半数以上が救命講習の受講を修了しており、地域に貢献出来るよう努めています。	○	職員全員が救命講習受講し、地域の高齢者の方に役立てればと思っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	実地する意義を理解しています。内容についてもミーティング等で協議し、改善するようにしています。	○	評価して頂いた内容は前向きに取組み活かすようにしています。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を行い、報告、評価、要望をいただき、意見をケアに反映している。	○	ボランティア活動団体などを紹介して頂き活用させて頂いています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に市の相談員に訪問して頂いています。	○	今後もよい関係を築き、利用者様への支援に向けてのアドバイスを頂きたいと思っています。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	活用できるよう支援しています。	○	活用されている方がいます。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のため職員が虐待に対する知識が持てるよう勉強し利用者が安心して生活できるよう努めています。	○	虐待への理解を深めるため今後も継続して勉強の機会を作っていきたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族様の理解、納得を頂いています。	○	より理解を頂けるように努めたいと思っています。
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に市の相談員に訪問して頂いています。	○	会議等で周知徹底するよう努めたいと思っています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の近況を定期的にご家族様へ報告しています。	○	これからも定期的に報告を続け家族様との関係構築に役立てていきたいと思っています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、運営推進会議を定期的実施しています。 玄関、各フロア詰め所入り口に苦情・相談箱を設けています。	○	重要事項説明書に施設相談窓口と公的相談窓口の案内もしています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	マネージャー会議、各フロア会議に於いて職員の意見等聞く機会を設けています。	○	実施しています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に柔軟に対応できる職員を配置している。	○	実施しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	必要な場合は協議をしています。	○	少しでも利用者様へのダメージが無いよう配慮したいと思っています。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、外部・内部研修の機会を積極的に設け、職員のスキルアップを図っています。	○	職員中心の勉強会等も実施しています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流する機会を持っています。相互訪問等も実施しています。	○	介護事業者連絡会などにも参加しています。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員が自由に何事も相談できる雰囲気であるよう配慮しています。	○	職員に対してのコミュニケーションを十分に取れるよう努力しています。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の状況を把握努めています。	○	各職員のモチベーションを上げていく方法を検討していきたいと思っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	今後も積極的に機会をつくり受け止めたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	ご家族の立場に立って受け止めることが大切と思っています。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○	必要な場合は他事業所等の協力も得ながら対応させていただきます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○	ご本人の意向を理解し、馴染んで頂けるように工夫します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○	共に生活をする関係作りをより取組んでいきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご指導もいただけるような関係づくりに努めています。	○	よりよい関係が築ける努力を続けていきたいと思っています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様やご利用者様のこれまでの関係性など会話などコミュニケーションの中から理解し支援に取り組んでいます。	○	難しいケースもあると思いますが、より良い関係を築いて頂けるよう努力したいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様・利用者様の望まれる生活ができるよう支援に努めています。	○	利用者様が生活に楽しみが持てるよう支援していきたいと思っています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様一人ひとりが気持ちよく生活できるよう配慮しています。	○	職員が間に入り利用者様同士が親睦を深められるよう支援していきたいと思っています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	頻繁ではありませんが、ご相談やご報告を頂いています。	○	断ち切るような事はありません。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	どのような生活を望まれるか意見を伺っています。困難なケースでは利用者の立場になって考え検討しています。	○	職員間でも情報交換しどのような意向を持たれているか話し合い検討しています。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に於いてご本人、家族様、他事業所のケアマネージャー、医療関係者から情報収集を行い、書面に残しています。	○	特に家族様には継続的に話を伺い、生活歴の把握に努めています。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活歴・既往歴など情報をいただき現在の状態把握の参考として職員間で共有できるよう努めています。	○	現在の状態を把握するため連絡・申し送りを行っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティングや家族様・本人様との会話の中からニーズを見極め、介護計画を作成しています。	○	チームでのケアができるよう色々な意見を聞き取り組んでいます。
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	新たに生じた変化や緊急性のあるケースは個々に必要に応じて検討し作成しています。	○	介護計画を現状に沿ったものにするため対応できない変化がある場合は必要に応じて作成していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアチェック表を作成し日々の実践結果を記入、毎月のミーティングにおいて情報を総合・検討し、新たな介護計画の参考としています。	○	個別の記録を毎月評価し介護計画の見直しを行っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族様の要望に柔軟に支援するよう努めています。	○	急な外出や外泊も楽しまれています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティア等を積極的にお招きしています。	○	今後も続けて行きたいと思っています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実施しています。	○	今後も実施したいと思っています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議等により、アドバイスをして頂いています。	○	今後も一層の連携をとっていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との話し合いの場を持たせていただいています。ご希望の医療機関への通院もさせて頂いています。	○	指定医療機関への通院支援も実施しています。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	実施しています。	○	実施しています。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理をしていただいています。	○	かかりつけの医療機関の看護職員に健康管理をしていただいています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院、退院の際など情報交換をさせていただき連携を図っています。	○	看護サマリーの提供をお互いに行ったり利用者様の特徴を伝え情報の交換に努めています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に看取りに関する指針を説明しています。かかりつけ医、ご家族様とも連携をとり、方針を共有しています。	○	ケアプラン作成時なども、本人様・家族様の意向を反映させられるよう方針を相談しています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	少しでも生活がより良く出来るよう職員間でミーティングを行っています。また緊急時の対応など事前に話し合い変化に備えています。	○	重度化や終末が予想される場合職員や医療機関、家族様と連携のもとケアの方針を決定しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	住み替えのケースがあれば決定までに十分に説明 を行い、また職員間でも相談の上、検討します。	○	住み替えによるダメージが極力ないよう努めてい ます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	プライバシーが保てるようしています。	○	個人情報には注意を払い取り扱いしています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	日々の生活において本人様の希望に沿う暮らしの 実現にむけて支援しています。	○	利用者が自己決定できる環境を整え希望を表現 できる支援をしていきたいと思っています。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	食事時間や入浴など柔軟に対応しています。	○	利用者様一人ひとりの持っている力を発揮できる ような支援を目指したいと思っています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	理容・美容は定期的に業者の方に来て頂いていま す。本人様・家族様の希望があれば選んでいただ けるよう支援しています。	○	今後も希望に沿った支援をしていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材やご希望の食材を取り入れ、日々の食事を提供させて頂いています。季節行事やご希望の食材を使用した食事作り、菓子作りなどのレクリエーションで、調理、準備や片付けなどをして頂いています。	○	毎日の日課としては出来ていない為、継続的に取組んでいきたいと思っています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ・飲み物は希望があれば楽しめるよう支援しています。	○	家族様にも嗜好を伺い望まれる支援をしています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンをつかみ、トイレ誘導や声かけにより気持ちよくできるよう支援しています。	○	定期的なトイレ誘導など排泄が安楽にできるよう支援しています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯は午後が殆どですが、ご希望やタイミングで入浴して頂けるように努めています。	○	入浴の意思決定は本人様を尊重し実施しています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	気持ちよく休息できるよう支援しています。	○	生活習慣を見極め休息が取れるよう取り組んでいます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	菜園や買い物など、個々のご希望やご家族様からの情報を活かし取り入れています。	○	個々の力を活かした取組みができるよう工夫を考えていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則金銭は職員側でお預りしていますが、希望時は利用様が自由に使えるよう支援行っています。	○	今後もお金の所持、利用において本人様の力に応じた支援をしていきたいと思っています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様の状態や天候等に留意しながら実施しています。	○	ご家族様にもご協力して頂いています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	実施しています。	○	利用様あるいは家族様の外出できる場面作りをしていきたいと思っています。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話・手紙ともに希望に応じて支援しています。	○	希望あれば職員支援のもととしていただいています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様などいつでも訪問いただけるよう取り組んでいます。	○	家族様・友人等訪問の際には気兼ねなく過ごせるよう取り組んでいます。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はありません。	○	正しく理解するためにミーティングを行うなど意識を持って取り組んでいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	市の実地指導に於いて鍵をかけるようにと指導の有った個所は鍵をかけています。	○	利用者様の希望に沿い、その都度対応します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間安全な生活ができるよう支援しています。	○	安全の確保のため見守りを意識し夜間には巡視を行い安否確認にも努めています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室内の持ち物などは一人ひとりの状態に合わせて危険がないよう取り組んでいます。	○	利用者様の状態を把握し物品の所在場所や有無を検討しています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理委員会やフロアミーティングなど事故防止に向け研修しています。	○	一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当の訓練を行っています。	○	今後も継続して取組んでいきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防訓練を行っています。	○	今後も継続して取組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	想定されるリスクについてご家族様と話し合いケアプランなどに反映しています。	○	利用者様がストレスを感じないよう方法を検討しリスク管理に努めています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックだけでなく顔色や表情身体状況の変化に気を付け職員間で情報の共有を図っています。	○	体調の変化を感じ取り職員間で情報を共有できるよう取り組んでいます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援・変化の確認に注意しています。	○	確実な服薬ができるよう取り組み、症状の変化への対応も注意して取り組んでいます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のチェックを行い便秘が長く続かないよう取り組んでいます。	○	便秘を起こさないよう水分摂取に注意し日常的に便秘される方には食事内容など気をつけています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケア行っています。	○	口腔ケアができるよう支援しています。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量を毎日チェックし栄養状態の把握に努めています。	○	偏食される方や食事・水分を要求しない方など状態に合わせて栄養・水分が摂取できるよう支援しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策マニュアルを作成し対応に努めています。	○	感染症予防のため知識を学び且つマニュアルに則した対応をしています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理に注意し食中毒予防に努めています。	○	毎日の食材をチェックし怪しい食材は使用しないよう対応するなど配慮しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に花壇を設けたり、ゴミや汚れがないよう清潔保持にも努めています。	○	清潔で明るい雰囲気心を心がけて安心して訪問できるよう心がけています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光がないよう配慮しています。	○	生活感・季節感をより作っていききたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	多くの利用者様が集まれる場所やひとりで過ごすことのできる空間など配慮しています。	○	利用者様が思い思いの場所で居心地良く過ごせるよう配慮しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごせるよう使い慣れた物など持ち込んでいただいています。	○	できるだけ利用者様の親しみのあるものなど利用できるよう配慮しています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日閉め切ることがないよう必ず換気を行い空調も様子を見ながら配慮しています。	○	各居室や共用スペースにおいて換気・空調へ配慮しています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険がないよう配慮しています。	○	身体機能を活かせるよう支援しています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	落ち着いて暮らせるよう居室に表札を掲げるなど配慮しています。	○	フロア内に案内や写真を飾るなど注意しています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園、ガーデニング等の活動をおこなっています。	○	掃除を手伝っていただくなどより活用できるよう支援していききたいと思います。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気を大切に「よりよい介護、感動ある介護」を目指しています。